

中井まさとも 便り

No.081
2020年
10月号
発行責任
日本共産党
前香芝市議員
中井政友
香芝市五位堂
4-290-4
ma36sa83@kcn.jp
Tel 090-3869-9204



菅氏が新首相に すが

自己責任を今の国民に第一に表明される内閣との事、コロナで今国民、社会がどうなっているのかが必要なのかを感じられて無いようで残念です。

小さな政府、自由競争や効率化、規制緩和、社会保障の削減といった新自由主義的政策が新型コロナウイルスに弱い社会にしてみました、世界的でも変わりつつあるのにも関わらず、これまでの安倍政権と同じ路線を走ろうとされている。総選挙で審判を下すしかありません。

9月広報から 保育必要労働時間を 月80時間から6 4時間に下限を広げ る

令和元年決算各基金の概算
財政調整基金
14億5千万円

コロナ対応の為4億円出されていきます。

減債基金

2億3千万円

他特定目的基金

31億1千万円

国民健康保険財政調整基金、

7億1千万円

介護給付費準備基金

7億7千万円

*国保・介護の基金については、更に収支の黒字部分も加えると十分市民に還元で

きる財政があると言えます。
他の9月市議会答弁から
気になる教育部長の
一般質問答弁

一 小中学校を統廃合し5校
の小中一貫校にしていく

現在の小10校、中4校を

小学校を中学校区に広げて

統廃合した上に更に一校増

やして一貫校をつくるとい

う突然の発言。議論を呼び

そうです。全国の問題点やコ

ロナで少人数学校を求める

運動をどう考えられている

のでしょうか？

コシの官製談合は？

9月8日最高裁が市の上告

は理由にあたらなないと棄却。

業者から委託料の返金を求

める事が確定。市は、今後も

捜査に全面協力し大阪特捜

部の刑事捜査を見守る事に。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

水道が広域化

広域化で将来の更新費が抑えられると県主導で来年

の統合めざす覚書締結を予定されています。

既に7回の検討会、2回

の市町村長会が開かれ、11

月の市町村長会、12月の検

討会後に覚書を締結する予

定が描かれています。

香芝市は、県水100%のた

め直接影響を受けます。多

くの問題点があります。

奈良市8月4日建設企

業委員会資料より

1、覚書締結後の脱退は、ほ

とんどできないにもかか

わらず締結まで十分な議

論の期間がない。

2、会計の統合もされ市の

水道会計の貯金も統合後

なくなる。

3、施設の統廃合もされ香

芝市の浄水場、配水場は

全て無くなり災害・故障

時大変な事に。

4、更新費が押されられる

という見積もりに統合時

れていなく効果を大きく見せている。
5、統合後5年毎に水道料

が改訂され5年後から

現在より料金が高くな

る。左に資料

水道料金の試算
R 2・5・21
水道サミットより作成

1m当たり給水原価

H30年度

単独経営 175.2円

R7年度

単独経営 182.3円

広域事業団 182.8円

R30年度

単独経営 239.1円

広域事業団 230.8円

今後

香芝だけで見ると水道の値

上げは、避けられないが単独よ

り広域が少し安い。

しかし、市内の浄水場など施

設がなくなり災害時は大変心

配。独自会計もなくなり声が届

かず遠い存在になる事が考え

られます。